

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アネキシンVによる新しい血小板活性化測定法の開発と臨床への応用	佐藤 宏和	産科婦人科	200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
秋田県不妊専門相談センター事業	田中 俊誠	産科婦人科	2,688,126	補委 秋田県
ベンゾジアゼピン系薬物による放熱反応と高齢者の低体温に関する研究	越前屋 勝	神経科精神科	1,900,000	補委 文部科学省
ヒスタミン値の過眠症での感受性、特異性の確認と、反復性過眠症の原因検索	清水 徹男	神経科精神科	1,800,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
2次性の過眠症の原因検討と、摂食障害における視床下部の神経ペプチドを検討すること	神林 崇	神経科精神科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究班(分担研究課題名)研究の総括 成果の公表	清水 徹男	神経科精神科	250,000	補委 国立精神・神経センター
睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究班(分担研究課題名)ナルコレプシー特発性過眠症の標準検査・診断・治療ガイドラインに関する研究	神林 崇	神経科精神科	560,000	補委 国立精神・神経センター
収束超音波による軟部肉腫の治療	田澤 浩	整形外科	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
超音波による軟部肉腫の治療:アクリジンオレンジを音響感受性物質として	岡田 恭司	整形外科	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
収束超音波を用いた軟部肉腫の治療	永澤 博幸	整形外科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍関連P13Kの選択的遮断を基盤とする扁平上皮癌に対する分子標的治療法の創生	眞鍋 求	皮膚科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
腫瘍関連P13Kの選択的遮断を基盤とするメラノーマに対する分子標的治療法の創生	津田 昌明	皮膚科	1,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
高脂肪食による前立腺癌の進展促進の分子メカニズムの解明	羽瀨 友則	泌尿器科	5,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
前立腺癌におけるインスリン様成長因子軸の臨床利用に向けた基礎的研究	土谷 順彦	泌尿器科	2,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
膀胱癌に対する核酸医薬を用いたあたらしい治療法の開発	湯浅 健	泌尿器科	2,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
膀胱がん好発モデルマウスを用いた治療標的分子の探索	羽瀨 友則	泌尿器科	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
毛様動脈血管平滑筋に対する神経ペプチドの効果についての薬理学的研究	吉富 健志	眼科	1,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
水俣病患者の他覚的視野に関する研究	吉富 健志	眼科	1,500,000	補委 熊本県
前庭有毛細胞のKCNQ4変異によって前庭平衡機能障害が本当に引き起こされないのか	WONG WENG HOE	耳鼻咽喉科	2,400,000	補委 文部科学省
Pulse Transit Timeが睡眠呼吸障害における非侵襲的診断に応用できるか	殷 敏	耳鼻咽喉科	1,800,000	補委 文部科学省
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の評価	石川 和夫	耳鼻咽喉科	409,500	補委 財団法人 先端医療振興財団

計 21

(様式第11)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血性脳障害における $\alpha 2$ アドレナリン受容体作動薬と低体温併用による保護作用の研究	佐藤 浩司	麻酔科	1,700,000	補委 文部科学省
虚血性脳障害における β アドレナリン受容体遮断薬の保護効果に関する研究	合谷木 徹	麻酔科	500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
虚血性脳傷害におけるRhoキナーゼ阻害薬の効果および他薬との併用効果	西川 俊昭	麻酔科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
肺虚血再灌流障害における吸入麻酔薬の肺保護効果に関する研究	安部 恭子	麻酔科	2,700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
機械的圧縮ストレスがヒト顎関節滑膜細胞へ及ぼす骨代謝作用における分子生物学的解析	高野 裕史	歯科口腔外科	900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
脂肪組織から分離した間葉系幹細胞と低結晶性炭酸アパタイトを用いた歯再生医療の開発	永井 宏和	歯科口腔外科	2,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
リンパ管造影CTを用いたセンチネルリンパ節同定法の口腔癌への応用と有用性の検討	福田 雅幸	歯科口腔外科	2,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
不死化エナメル芽細胞株を用いた歯の再生医療に関する基礎的研究	中田 憲	歯科口腔外科	1,200,000	補委 文部科学省
滑膜細胞が顎関節症における骨・軟骨の破壊および修復に果たす役割の解明	岩波 洋一	歯科口腔外科	1,500,000	補委 文部科学省
実物大の顎口腔モデルの研究	福田 雅幸	歯科口腔外科	972,000	補委 秋田県
結晶構造解析モデルに基づくKチャンネルにおける一価陽イオンの動的挙動の解明	大佐賀 敦	医療情報部	500,000	補委 文部科学省
遠隔放射線画像診断支援システムに関する実証研究	近藤 克幸	医療情報部	35,103,000	補委 秋田県
秋田診療情報共有化システムの検証と今後のあり方に関する研究	近藤 克幸	医療情報部	2,101,260	補委 秋田県
アレルギー性炎症におけるレチノイドの機能解析と治療応用への試み	植木 重治	中央検査部	1,400,000	補委 文部科学省
喘息における肝細胞増殖因子の新薬およびバイオマーカーとしての可能性	伊藤 亘	中央検査部	1,700,000	補委 文部科学省
新規な心血管病治療標的としてのストア作動性Caチャンネルとその制御機構の解明	高橋 陽一郎	集中治療部	620,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
トレーニングによる全身諸臓器毛細血管活性化の基礎的研究	南條 博	病理部	1,200,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
センチネルノード同定のための磁気音響型センサの開発に関する研究	片寄 喜久	腫瘍センター	5,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
テラヘルツ波イメージングによる乳癌センチネルリンパ節微小転移補助診断に関する研究	片寄 喜久	腫瘍センター	1,900,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
がん治療に関する調査研究	病院長		19,478,000	補委 秋田県

計 20

合計 84

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol Hepatol., 23, 308-311 (2007)	Endoscopic observation of Meckel's diverticulum by double balloon endoscopy: Report of five cases.	大西 洋英	第一内科
Am J Physiol Cell Physiol., 292, 259-268. (2007)	Cyclooxygenase-2 is required for activated pancreatic stellate cells to respond to proinflammatory cytokines.	大西 洋英	第一内科
Biochem Biophys Res Commun., 354, 154-159. (2007)	Involvement of membrane-type bile acid receptor M-BAR/TGR5 in bile acid-induced activation of epidermal growth factor receptor and mitogen-activated protein kinases in gastric carcinoma cells.	大西 洋英	第一内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol., 292, G39-G52. (2007)	Morphogenic protein epimorphin protects intestinal epithelial cells from oxidative stress by the activation of EGF receptor and MEK/ERK, PI3 kinase/Akt signals.	堀江 泰夫	第一内科
Nat Cell Biol., 9, 36-44. (2007)	Control of cell polarity and motility by the PtdIns (3, 4, 5) P3 phosphatase SHIP1.	堀江 泰夫	第一内科
Blood., 109, 3316-3324. (2007)	The Pten/PI3K pathway governs the homeostasis of Valpha14 iNKT cells.	堀江 泰夫	第一内科
J Clin Invest., 117, 2929-2940. (2007)	Pten controls lung morphogenesis, bronchioalveolar stem cells, and onset of lung adenocarcinomas in mice.	堀江 泰夫	第一内科
J Gastroenterol Hepatol Suppl., 1, 96-100. (2007)	Non-alcoholic steatohepatitis and hepatocellular carcinoma: lessons from hepatocyte-specific phosphatase and tensin homolog (PTEN)-deficient mice.	堀江 泰夫	第一内科

小計 8

Internal Medicine., 46, 849-854. (2007)	Osler-Weber-Rendu disease with esophageal varices and hepatic nodular change.	後藤 隆	第一内科
Clinical Gastroenterology and Hepatology., 5, A26. (2007)	Pancreatic metastasis from renal cell carcinoma.	後藤 隆	第一内科
医学と薬学., 57, 473-483. (2007)	東北ウイルス肝炎治療研究グループ. C型慢性肝炎に対するインターフェロン α -2b (イントロンA) リバビリン併用療法の有用性- 東北地区における多施設共同研究成績-	後藤 隆	第一内科
Dig Dis Sci., 52, 3066-3069. (2007)	Effect of alcohol consumption on leptin level in serum, adipose tissue, and gastric mucosa.	神 万里夫	第一内科
Dig Dis Sci., 52, 31-32. (2007)	Successful treatment of refractory duodenal Crohn's disease with infliximab.	神 万里夫	第一内科
Dig Dis Sci., 52, 2757-2765. (2007)	MEK activation suppresses CPT-11-induced apoptosis in rat intestinal epithelial cells through a COX-2-dependent mechanism.	神 万里夫	第一内科
Dig Dis Sci., 52, 711-716. (2007)	Mitigation of stress-induced gastric mucosal lesions by a specific type IV phosphodiesterase inhibitor.	神 万里夫	第一内科
J Hepatol., 47, 834-843. (2007)	Epimorphin, a morphogenic protein, induces proteases in rodent hepatocytes through NF-kappaB.	三浦 光一	第一内科

小計 8